



くっ！

このネウロイは  
何なんだ!?

クッ！

!!



グググ

ググググ

うあああ!!

グググ

じゅじゅー!!

ぐあああ!!

グググ





なんて力だ…  
まったく抜け出せない…

ぐっ…

くっ！



だが、  
早く助けが来れば  
こんなやつ…！

うぐっ！

あっ！

このお…！

？



くそー！

放せ！！

締め付けがさらに  
きつくなってきた...



大蛇に捕食される  
餌じゃないか...

びびり...びびり...



びびり...

これじゃ、  
まるで...



ぐああ！！



あぐっ!!

ぐああああ!!

うっーあぐ……

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ



じゅじゅ...

骨が軋んで、  
今にも折れそうだ...

息が...できない  
なんて締め付けだ...



ぐじゅ...



ぐじゅ...



このままでは、こいつを  
締め殺されてしまう...

ああっ!!

ぐああああ!!



はぐああ!!



あがつ!!

がああああ!!

ここっし...  
首にも巻き付いて  
きた...

確実に私の息の根を  
止めるつもりか...



あああああ!!

うあっ!!



私は...  
ここで死ぬのか...



もう...  
身体が言うことを  
聞かない...





数十分後

はあ…

はあ…

な、何故だ？

さっきからネウロイの  
締め付けが  
弱まってきている、  
私を殺すんじゃないのか？

むぐっ!?

ギガ

な、何だ!?

ま、まさかこいつ、  
私を呑み込む  
つもりか!?

ググ

ゴボ

んっ!!



むぐっ!!

ぐっ……!

すごい力で、  
呑み込まれていく……!



い、嫌だ!  
こんなネウロイに  
捕食されるなど……  
絶対に嫌だ!!

吐き出してくれ!!

くそっ!  
お願いだ!

ん……んっ!!





うぐっ！

ドクッ

ギョッ



んんっ！！



ううっ…生臭い…  
そして全身が  
ネバネバして  
気持ち悪い…

このままでは、  
こいつに  
消化されてしまっ…  
速く逃げないと…

ギョッ

ドクッ



どんどん奥に  
呑み込まれていく…

ギョッ

ドクッ

肉壁の締め付けが…  
苦しい…それに、  
体に、力が入らない…

ドクッ

間違いない…  
こいつ、肉壁から  
直接私の魔法力を  
吸い取っている…!!

ドクッ

おん

いや!  
やめる!!

おん

やめてくれ!!

私を締め殺さずに  
捕食した目的は  
これだったのか…!

ドクッ

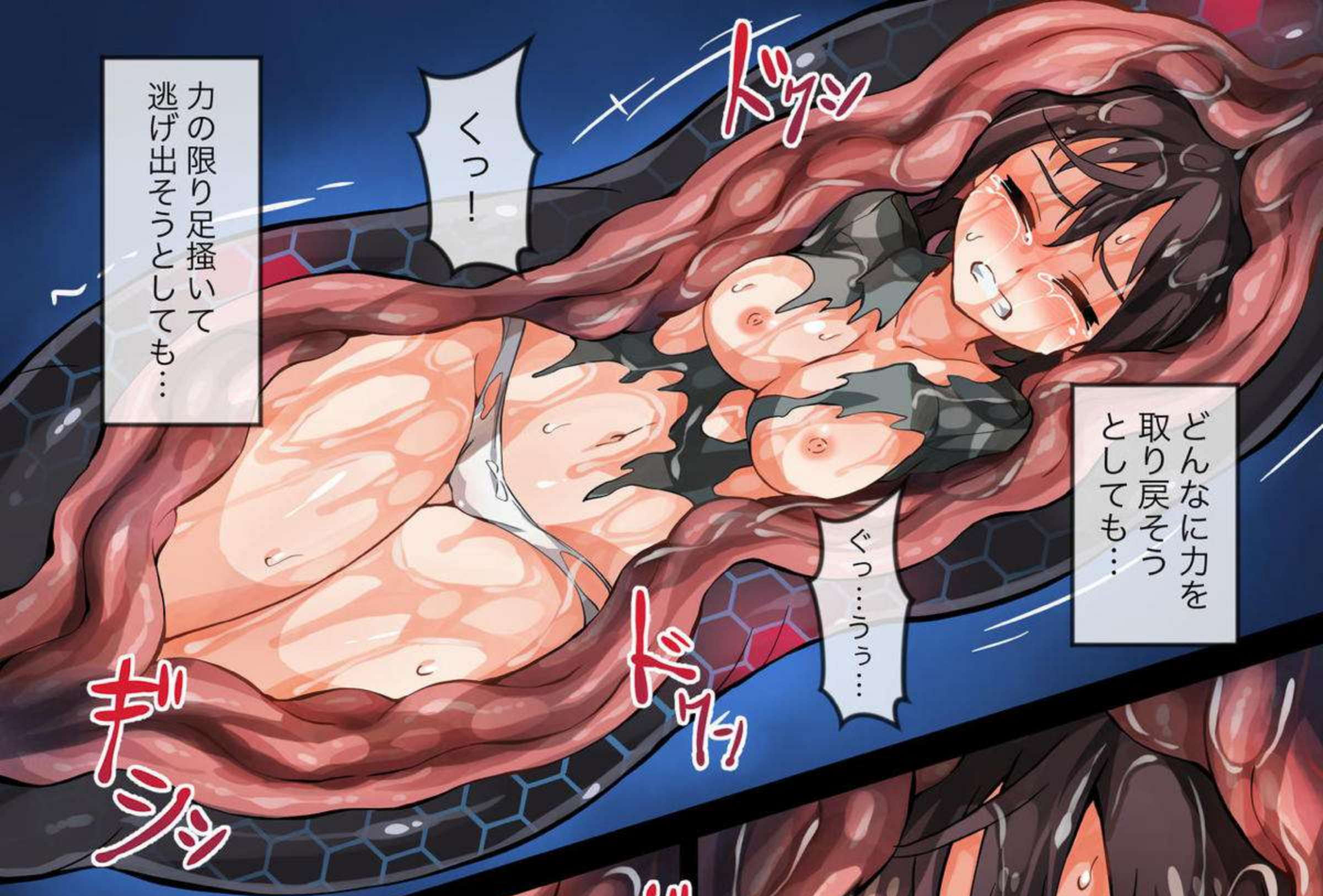
くっ…  
私の…服が…

ドクッ

おん

「ん…!」

ドクッ



どんなに力を  
取り戻そう  
としても…

ぐっ…ぐっ…ぐっ…

くっ…!

力の限り足掻いて  
逃げ出そうとしても…

ガッ  
ジッ

ドク  
ドク



うあっ…!

ガッ  
ガッ

じへっ…!

ガッ  
ガッ



この体内じゃすべてが無意味…  
むしろ、さらに  
奥へと呑み込まれていくばかりだ…

ドク  
ドク

ドク  
ドク

動けない…息ができない…  
魔法も使えない…  
もう私にできることは何もない…

もう…私の魔法力が  
無くなるのも時間の問題…

ドクッ

はあ…

ガッ

まさか、ウィッチを捕食して  
魔法力を奪い取るネウロイが  
この世にいたなんて…

はあ…

ドクッ

ガッ

私はもう、死ぬまで  
この肉壁の中で  
締め続けられるのか…

うあっ！

すまん、みんな…  
私は…ここまでだ…

ガッ

ドクッ

ドクッ



ネウロイを  
発見しました

このまま  
追いかけます



油断しないでね  
宮藤さん

分かりました



待っててください  
バルクホルンさん  
必ず助けます！